

D×Pユースセンター一個別相談者・同行支援者分析 (2026.3.31時点)

※本データは、ユースセンター設置前のテント時代からの記録も含む分析です。

概要・目的

当分析は認定NPO法人D×P（ディーピー）が運営するユースセンターを利用する若者の利用記録を分析したものである。困窮している子ども・若者が、ユースセンターや個別相談・同行支援をどのように利用しているかを把握するためのものである。

※本分析は2026.3.31時点のデータであり、今後さらに参加期間・同行支援回数などの期間が延びる可能性がある。

分析対象

2022/9/14~2026/3/31の期間（約3年半）において、認定NPO法人D×Pが運営するフリーカフェまたは夜のユースセンターに参加した実利用者2027人のうち、「個別相談」または「同行支援」を実施した117名（約5.8%）を対象とした。

補足事項

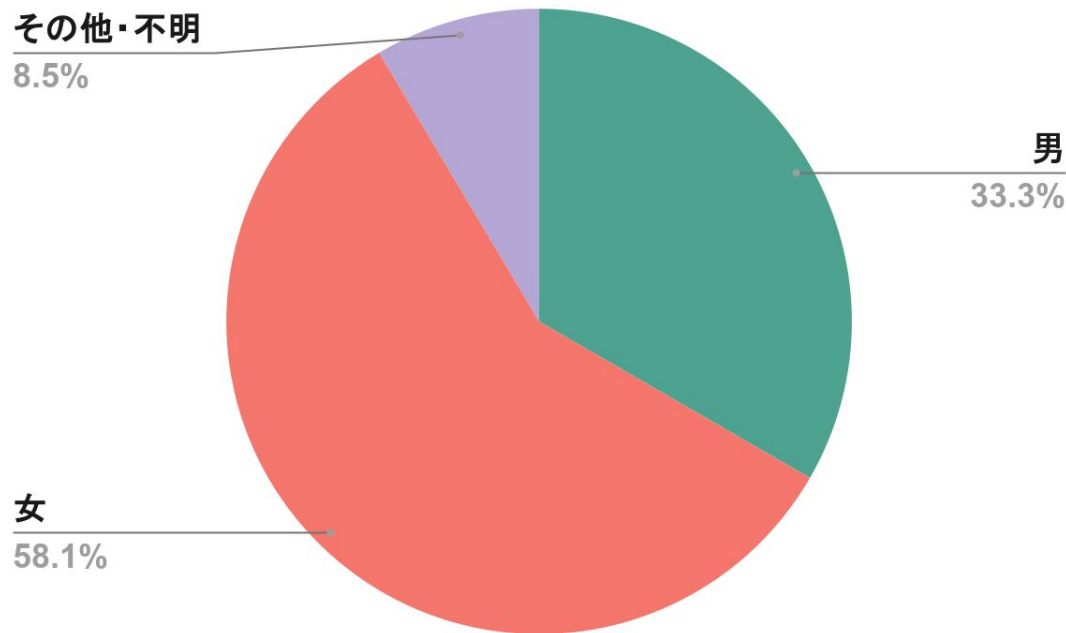
※居場所のみ利用者はカウントせず、個別相談・同行支援どちらかを1回でも行ったケースのみを対象とした。本人が困りごとを抱えていても、ユースセンター内でのスタッフとの雑談に留まり、個別の相談までは望んでいないものは現状「個別相談」とカウントしていない。緊急時やリスクを懸念する場合は、状況に応じて個別相談の提案や他機関との連携をしている。

※D×Pで行っている「同行（支援）」とは、若者が1人で行くことにハードルがある際に、行政や医療機関、他の民間支援団体の窓口へ一緒に行く対応のこと。手続きや相談の場で、困りごとや今の状況を説明する手助けをしたり、不安を和らげたりしながら、必要な支援につながるためにサポートしている。

分析対象とした117人の性別



- ・ 「女性」 58.1%、「男性」 33.3%、「その他・不明」 8.5%。

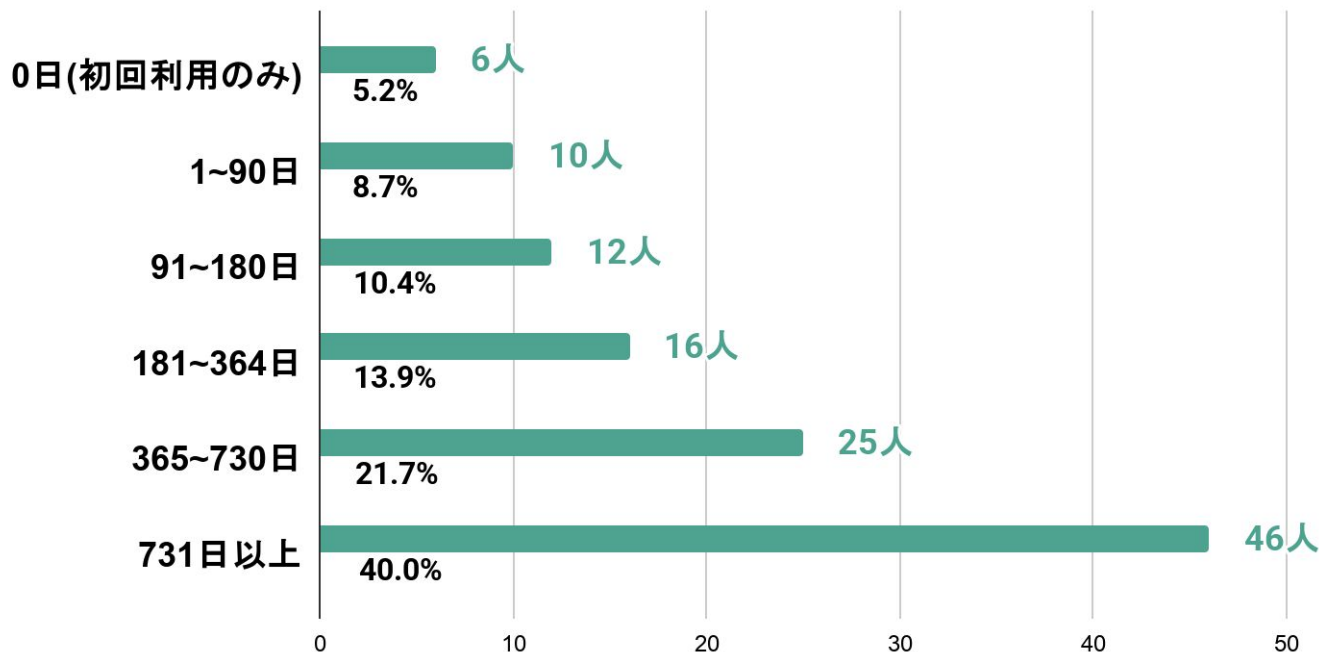


※構成比は小数点以下第 2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも 100とはならない。

ユースセンター利用継続期間（n=115）



全体の平均値は531.6日、中央値は554.4日である。
期間別に見ると、個別相談・同行支援に至る若者のうち40.0%は居場所として2年以上利用している。

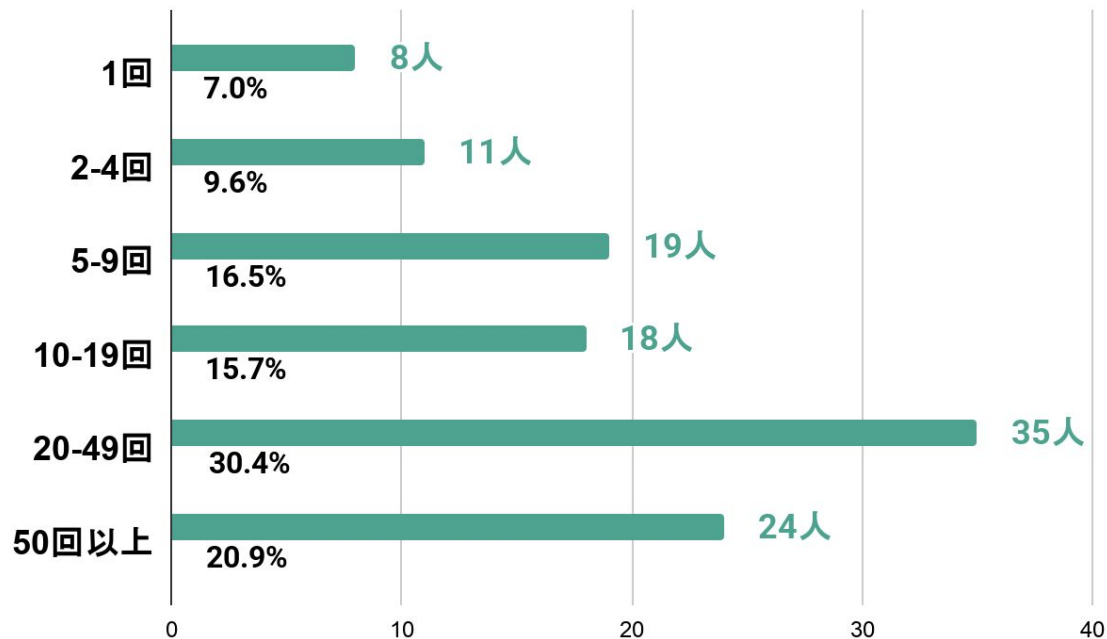


※構成比は小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも 100とはならない。

ユースセンター来所回数 (n=115)



全体の平均値は28.5回、中央値は20.0回である。
個別相談・同行支援に至る若者のうち67.0%は、ユースセンターを10回以上利用している。

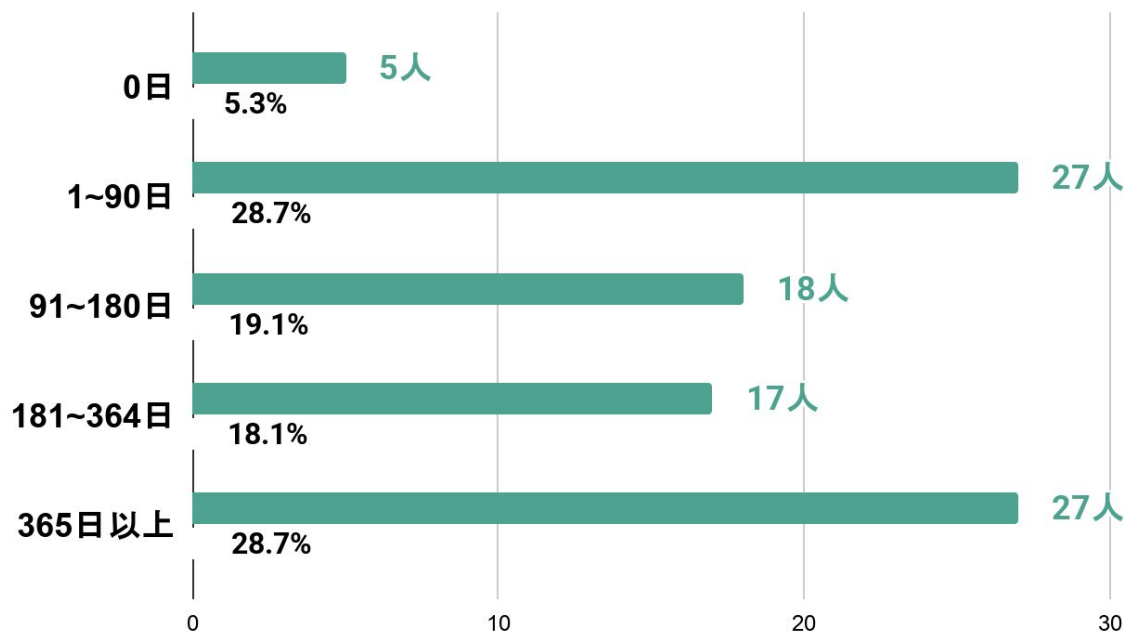


※構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。

センター初来所から初回個別相談までの期間（n=94）



全体の平均値は269.8日、中央値は157.5日。個別相談は来所してすぐ始まるわけではなく、居場所として平均で約9ヶ月ほど利用した上で個別相談につながる傾向があった。また「来所後そこまで期間をおかず個別相談につながる層」と「半年～1年以上センターを利用してから個別相談につながる層」が存在する。

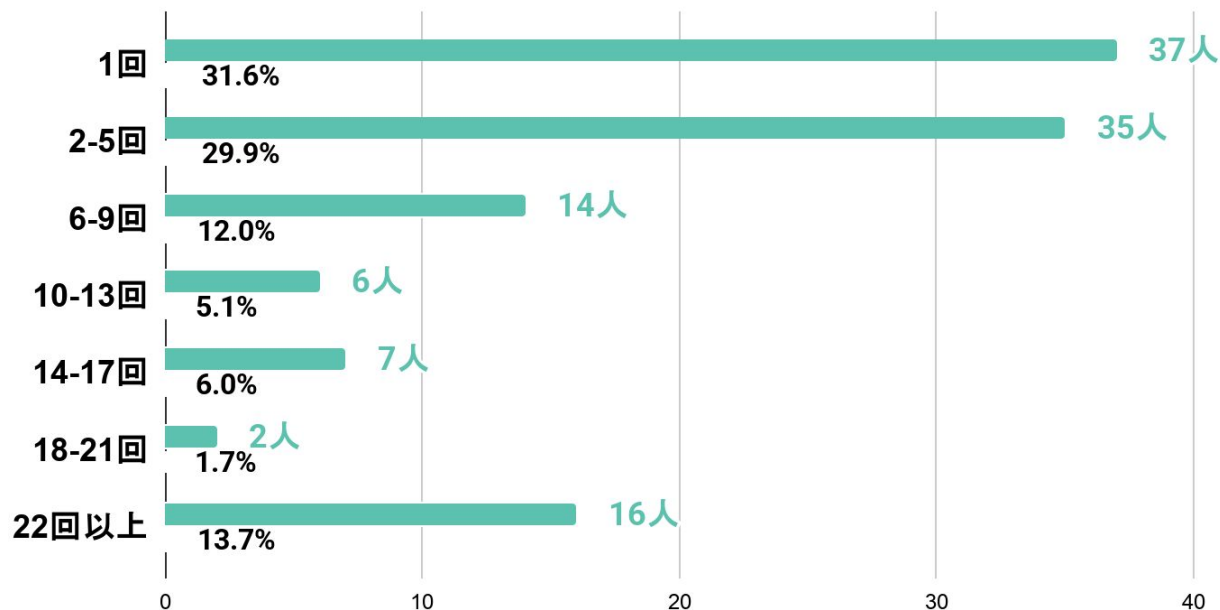


※構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。

ひとりあたりの「個別相談＋同行支援」の回数(n=117)



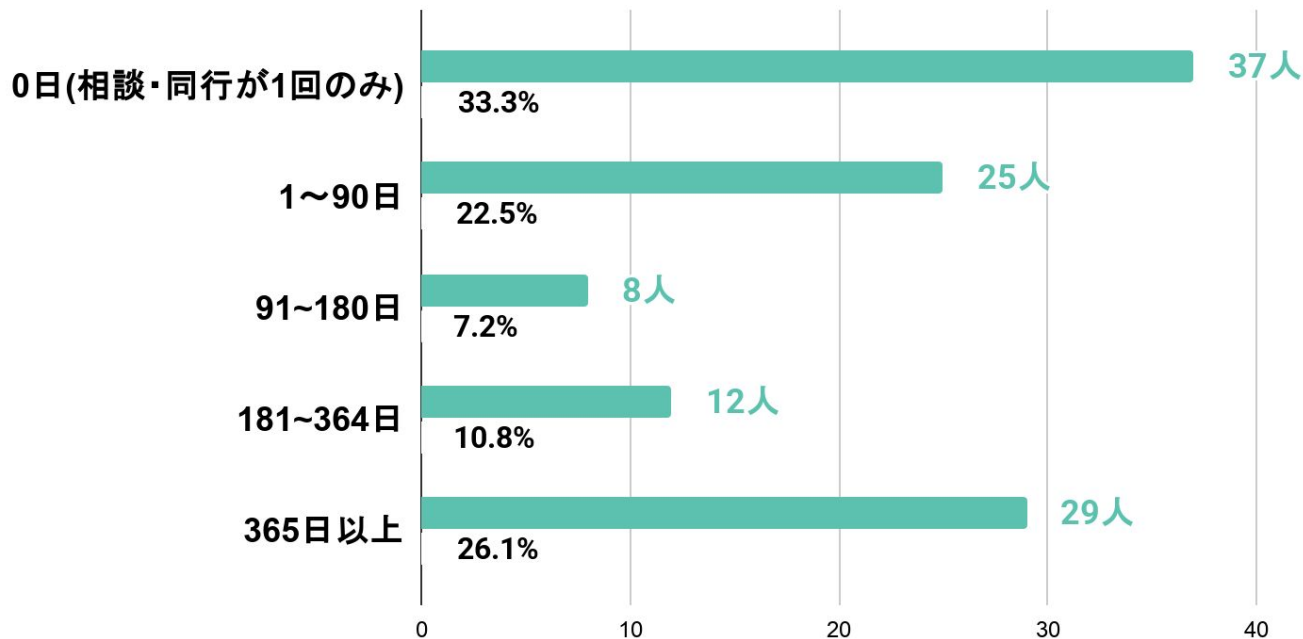
1～5回の支援で関わった利用者が全体の61.5%を占めた。一方で、22回以上の支援を受けた利用者も全体の13.7%存在した。平均値は12.3回、中央値は4回である。最も多いケースでは、135回の個別相談および同行支援を行った。



初回個別相談・同行から最終個別相談・同行までの期間(n=111)



全体の平均値は233.2日、中央値は28.0日である。個別相談・同行支援が1回のみのケースも33.3%ある一方で、1年以上の継続的な個別相談・同行支援を行うケースも26.1%存在する。ひとり当たりの個別相談・同行支援回数と合わせると長期間かつ複数回の支援が必要なケースが一定いることが示唆される。



※構成比は小数点以下第 2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも 100とはならない。

医療・福祉・行政などへの接続（リファー）割合(n=117)



全体の53.8%は、医療・福祉・行政など必要な支援先へ、同行支援を行い、接続している。
※口頭で繋ぎ先を紹介し、本人が連絡して他機関につながったケースは「同行リファー」とカウントしていない。本人連絡によるケースを含めると、リファー率はより高くなることが想定される。

